

第9回推進委員会
令和2年3月
資料 4

令和2年度 生物多様性保全に関する主要施策実施予定

【生物多様性保全推進体制の整備等】

(基本戦略5「情報をつめる・つたえる・見せる」)

1 「生物多様性神戸プラン」及び「神戸版レッドデータ2015」の見直し

生物多様性保全に関する地域戦略である生物多様性神戸プラン、及び基礎的な資料となる神戸版レッドデータについては、最新の情報を踏まえ、生物多様性神戸プランの行動計画や進捗管理のための目標等の一部見直し、神戸版レッドリスト、ブラックリストの見直しを行う。

2 環境DNA調査の実施

環境DNA分析(網羅的解析)手法を用いた調査により、神戸海域の魚類相を把握し、海域における生物のデータベースとして蓄積する。また、令和2年度及び過年度の公共用水域における水質常時監視調査結果及び水生生物調査結果との関係を整理する。

【市民と協働した生物多様性保全活動の推進】

(基本戦略2「人をそだてる」)

生物多様性シンポジウムの開催

引き続き生物多様性保全に対する市民への意識啓発を図っていくため実施する。起工80年の森林植物園との共催を予定。

【生物多様性保全活動への市民参加の促進】

(基本戦略3「活動をつなぐ・ひろげる」、基本戦略4「恵みを持続的に活用する」)

農業政策との融合による生物多様性保全

令和元年度に選定したモデル地域において、放置竹林や不耕作地の整備及び利活用に係る活動を実施する。また、地域資源の魅力発信を目的としたイベント等も実施するなど、里地里山地域の活性化とそれに伴う生物多様性保全の取組みを推進する。

【希少な生物の保全】

(基本戦略1「場をまもる・つくる」)

ニホンイシガメの保全

ニホンイシガメ域外保全候補地の整備方法検討のため、国営明石海峡公園 神戸地区(あいな里山公園)において、ニホンイシガメ及びクサガメの行動範囲調査等の生態調査を実施する。

【生態系に影響を及ぼす生物に係る対策】

(基本戦略1「場をまもる・つくる」)

1 ニホンジカに係る調査

引き続き北区道場地区や唐櫃地区等での調査や、藍那地区での GPS 首輪による調査等により、生息実態や移動経路等を把握し、効果的・効率的なニホンジカの進入・定着防止策を検討する。

2 アライグマに係る調査

アライグマは、神戸市内全域に生息し、都市部でも目撃・捕獲数が増加している。現在経済観光局が農村部を中心に捕獲にあたっているが、近年数が増加しつつある都市部における捕獲体制を強化するため、環境局として生息実態把握を実施し、それに基づく効果的な捕獲の提案を経済観光局に対して行う。

なお、経済観光局においても、現在の捕獲体制に加えて、新たに捕獲業者を増やすことにより、更に捕獲頭数の増加を目指すこととしている。